

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教師ノート

日付 2015年 7月 5日

単元 伝道メッセージ

テーマ 十字架のイエス

タイトル 十字架のイエスさま

テキスト ローマ5:8-9

参照箇所 使徒4:12、ローマ10:10

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)

ローマ5:8

AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

□導入

みなさん、手が泥だらけになって汚れたら何で洗いますか？そう、石けんで洗いますね。髪の毛は何で洗いますか？そう、シャンプーを使います。外で遊んで洋服がどろんこになったらどうします？そう、お洗濯をしたら大抵のものはまた綺麗になり元に戻ります。でも私たちの心が汚れてしまったら、取り出してお洗濯することはできません。一体どうしたらいいのでしょうか？

□ポイント1 私たちは罪人です(8)

小さいことも大きなことも、悪いことはいけないことです。聖書には、「全ての人が罪をおかした」って書かれています。お友だちに意地悪をしたり、悪口を言ったり、ウソをついたりしたことはありますか？先生もイエスさまを信じる前は平気でそんなことをしていました。そしてそれを罪だと神さまは教えます。それらは警察につかまったりはしないかもしれませんが、でも、罪は私たちの心を汚して広がっていきます。

本当はみんな仲良くしていきたいと思うのに、どうしてケンカをしたり悪口を言ったりしてしまうんだろうねえ。泥棒はダメだってみんな知っているのに、どうして泥棒をする人がいるんだろう。小学生でも借りたものを借りっぱなしでばくってしまう「カリパク」をしたり、中学生や高校生も万引きをしたりします。どうして私たちはだめだと思っていることをしてしまうんだろうね。

実はね、罪には「的外れ」っていう意味があります。正しいところからずれて、まちがったところにいることを言います。電車が線路からずれて脱線したら大変です。行きたいところに行けませんし、乗っている人が大けがをするかもしれません。金魚が水槽から飛び出して水の外に出たら大変です。苦しくて生きていけません。本来いるべきところにいること、「的外れ」のことを「罪」って言うんです。私たち人間は、神さまによって造られました。だから神さまと一緒に生きていくのが一番幸せなのに、神様から離れてまちがった生き方かをするを「罪」って言います。けんか、悪口、いじめ、盗み、意地悪、無視・・・子どもも大人もそういう罪の中で生きているって、悲しいよねえ、苦しいよねえ。神さまは神さまだから、私たちのことを何でも知っておられるから、誰が見ていなくても、私たちの良いことも悪いことも全部知っておられます。

□ポイント2 神さまは私たちを愛しています(8)

私たちの罪を全部知っている神様は、そんな罪をもった私たちのことをどう思っているのでしょうか・・・学校で工作をしたことがあるよね。みんなが心を込めて一生懸命に作ったものは、とっても大切にしようね。男の子だったらプラモデルとかも好きでしょう。もし壊れたりしたら、大事に大事に直すよね・・・私たちはプラモデルとか以上に、神さまによって愛されて造られました。今までたくさんの方が世界中にいたけれど、2人といない最高傑作として神さまが私たちを造ってくれました。神さまは罪を持った私たちのことを嫌いなことなく、私たち1人1人を愛しておられます。神さまはみんなを愛することをやめることが

できません。私たちを愛し、罪に苦しんで生きて欲しくないから、罪から救い出すためにイエスさまを送ってくれたのです。

□ポイント3 罪を解決するためにイエスさまは死んで下さいました(8-9)

神さまは罪を解決するために、神さまのひとり子、イエスさまを私たちのもつに送られました。本当は私たちが自分の罪のために罰を受ける必要があります。でも罪のないイエスさまが、私たちの罪を背負って私たちの身代わりとなって十字架にかかって下さったのです。

私たちは自分で自分の心の中をきれいにすることはできません。神の子であるイエスさま、何一つ罪のないイエスさまが、私たちの代わりに罰を受け十字架にかかってくださり、「父なる神さま、彼らをおゆるし下さい」と祈ってくれました。それは命をかけてまでも私たちに救いたいという神さまの愛のしるしです。このイエスさまを信じる時、イエスさまの十字架のゆえに私たちの罪はゆるされ、罪で汚れた心がきよめられるのです。そしてイエスさまは十字架にかかって死なれただけではなく、3日目によみがえられ、信じる私たちと共におられます。このイエスさまの命がけの愛を知り、イエスさまと一緒に生きていくなら、罪をおかすことが嫌になり、天国への道を歩んでいくことができます。

身代わりの例話1)「塩狩峠」三浦綾子

三浦綾子さんという作家が、明治時代(1909年、今から100年ぐらい前)にあった北海道での出来事を小説にしています。それは札幌行きの汽車が塩狩峠にさしかかった時、なんと一番後ろの車両の連結が外れ、逆走し始めたのです。乗り合わせた乗客は騒ぎ始めました。その時、クリスチャンの青年が線路に身を投げ出して列車をとめ、乗客を脱線事故から救ったのです。塩狩峠には、今もその碑が立っています。

身代わりの例話2)洞爺丸

1954年9月26日、函館を出帆した洞爺丸は台風のために船が横転し、1000人を越える方々が亡くなりました。その中に3人の外国人宣教師が乗っていたそうです。その中の1人は救命具のひもが切れたと泣いていた女性に、「ソレハコマリマシタネ。ワタシノヲアゲマス」と自分の救命具をはずしたそうです。そして「アナタハ、ワタシヨリワカイ。ニッポンハワカイヒトガ、ツクリアゲルノデス」と言ったそうです。自分の救命具を譲った宣教師は、大きな波にのまれて帰らぬ人となりました。後年、来日した宣教師の息子は、父親がまったく泳げなかったという事実を語ったそうです。

□結論 十字架のイエスさまを信じる時、私たちの罪はゆるされ、きよめられ、救われます。

イエスさまは私たちの救い主です。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

【招き・決心の時】今日のお話を聞いて、みんなの心の中に隠している罪はありませんでしたか？神さまは私たちの心の中をすべてご存知です。そしてあなたが罪の罰を受けなくてもいいように、イエスさまはすでに身代わりとなって十字架にかかって下さいました。「OOくん！あなたに地獄にいつてほしくない！そのために私が代わりに罰を受けるよ！」そう言ってイエスさまは命を投げ出して十字架にかかって私たちの代わりに罰を受け死なれました。そして3日目に甦って、信じる私たちと共にいてくれます。今日イエス・キリストを自分の救い主として信じ受け入れ永遠(天国)の命をいただきましょう。

イエスさまを信じたら、たとえケンカをしても、イエスさまは愛のお方だから友だちと仲直りする力を与えてくれます。イエスさまは優しいお方だから、仕返しをしたいと思う時にも、お兄ちゃんやお姉ちゃん、弟や妹にも優しくすることができるように変えられていきます。イエスさまは本当の力をもっているのので、見て見ぬふりをするのではなく、いじめられている子の味方になる力を与えてくれます。イエスさまを信じると罪がゆるされ、イエスさまの心を持つことができます。イエスさまを救い主として信じていきたいと思う人はいますか？

教 師 ノ ー ト

日付	2015年 7月12日
単元	伝道メッセージ
テーマ	イエス・キリスト
タイトル	イエスさまってだれ
テキスト	マタイ16:16、ルカ19:10
参照箇所	マタイ1:18-25、ルカ1:26-38
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マタイ16:16
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

1. こんにちは、みなさんようこそ教会へ来てくれました！「初めて教会に来たお友だちはどれだけいるかな？ちょっと手を挙げてみて～」。はい、はい。ありがとう。教会では、聖書を開いて神さまのこと、イエスさまのお話しをします。聖書は神さまからの愛のお手紙がいっぱいつまっている本です。どの時代でも世界中で一番読まれている(売られている)本なんだって。すごいよね。この聖書にはイエスさまのことが書かれています。イエスさまって聞いたことありますか？イエスさまってどんなお方なのだろう？いつ、どこで生まれて、何をして、今はどうしているんだろう？

2. 世界の歴史上の人物で一番その名前を知られている人は誰でしょう？？多分ね、それはイエスさまだと思います。イエスさまの名前は、「イエス」と言います。英語では、「ジーザス」って呼ぶんだって。不思議だね。よく「イエス・キリスト」って呼ばれているんだけど、「キリスト」は名字ではないんだよ。「救い主」ってという意味があります。「救い主」って何だろう？どうしてイエスさまが一番有名なんだろう？イエスさまってどんなお方なのだろう？いつ、どこで生まれて、何をして、今はどうしているんだろう？イエスさまのお話しは、教会以外ではなかなか聞けません。テレビや学校でもそんなに教えてくれません。でも、とっても大切なお話しなので、最後まで静かにじっくりと聞いて下さいね。

□ポイント1 イエスさまは、人の子です(ルカ19:10)

今年は西暦何年か知っていますか？そうそう20××年です。実はこの数字は、イエスさまが生まれた年を1年(元年)にして数えられているんです！だからイエスさまは、今から20××年前に、今のイスラエルっていう国があるところで生まれたんです。お父さんの名前をヨセフと言って、大工さんをしていました。お母さんの名前を知っているかな？そう、マリヤさんです。イエスさまはヨセフさんとマリヤさんの家庭に生まれました。いつも紙芝居とか絵を見せているから、昔話と思っていたお友だちがいましたが、イエスさまは神話とか空想話の人ではなく、確かに私たちと同じように人の子として生まれたんです。

📖 紙芝居やイラストを見ている子どもたちは、時々イエスさまを神話の人物のように思っています。少しリアルなピクチャーロールや web などからベツレヘムの街などを印刷して見せても良いでしょう。

□ポイント2 イエスさまは、神の子です(マタイ16:16)

イエスさまは私たちと同じように人の子として生まれたんだけど、実は神の子なのです。イエスさまのお父さんは大工のヨセフさんだと言いましたが、本当のお父さんは天におられる父なる神さまです。ヨセフさんに「神の子である救い主があなたたちの間に生まれるからよろしくたのむよ」と言われたのです。イエスさまは神の霊である聖霊の不思議な力によってマリヤさんのお腹の中にみごもりました。イエスさまは神の子だから、罪をおかすことなく、また父なる神さまの愛でみんなを愛し、病気で苦しんでいる人々をいやし、神さまの素晴らしさを現わすたくさんのお奇跡をおこないました。例えばねえ、目の見えな

い人を見えるようにしたり、今まで一度も歩けなかった人を歩けるようにしました。また舟に乗っている時に大きな嵐になり、イエスさまは風や波をしずめたこともあります。そんなイエスさまを近くで見えていたお弟子さんたちは、「あなたは神の子です」と言いました。神さまは私たちを愛しているから、どこか遠くにおいて「ほら、がんばれ。そんなことをしてはいけない」と言われているのではなく、神さまのひとり子であるイエスさまを私たちのために送って下さり、神さまの素晴らしさを見せて神さまのことを教えて下さいました。

□ポイント3 イエスさまは、救い主(キリスト)です (マタイ16:16)

ではどうして、イエスさまは神の子であるにもかかわらず、人の子としてこの世に誕生されたのでしょうか。それは私たちを罪やのろいから救うために、十字架にかかって私たちの代わりに死ぬためです。人々が神さまの愛を知らないで自分勝手に生きていることを罪と言います。神さまを信じないで、神さまの愛が分からないで、神さまから離れて生きていると、心に悪い思いがわいてきたり、本当は友だちと仲良くしたいのに意地悪をしたり、ウソをついたりして罪を犯し続けながら生きることとなります。イエスさまは、私たちが神さまから離れたまま生きることがないように、罪に対して苦しみ続けることがないように、父なる神さまの愛を語り、「みんなは父なる神さまに愛されているよ」と教えてくれました。

そして私たちの犯してきた罪のために、私たちの身代わりとなって十字架にかかれ罰を受けて下さいました。十字架にかかれる前は、ムチを打たれました。つばをかけられ、人々からひどい言葉をあびせられました。それでもイエスさまは、私たちの罪を背負い、「父なる神さま、彼らをゆるしてください」と私たちのために十字架の上で祈られました。イエスさまは神さまだから苦しくなかったのでしょうか？決してそんなことはありません。イエスさまは苦しみに耐えながら私たちの身代わりにならば罰を受けてくれたのです。それは、私たちが罪から救われるためです。このイエスさまを信じる時、私たちは救われます。「神さま、私の罪をごめんなさい」と悔い改めるとき、どんな罪やその罰からもイエスさまは救ってくれます。

イエスさまは十字架にかかった後、3日目によみがえられました。私たち人間がどうすることもできなかった死と罪に打ち勝ったのです。この勝利のイエスさまを信じる時に、イエスさまは私たちと一緒にいて下さり、困ったこと、悲しいこと、しんどいことがあったら、私たちを励まし、慰め、助けてくれます。イエスさまは救い主だからそれができるのです。

□結論 神の子であるイエスさまを救い主として信じる時、私たちは救われます。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエスさまは神の子です。困ったこと、悲しいこと、つらいこと、どうしようもないことから、私たちを助けて下さいます。「イエスさま、あなたが本当に神さまなら僕を助けてください」とイエスさまにお願いしたい方はいますか？先生も一緒にお祈りします。手を挙げて教えて下さい。
2. イエスさまは救い主です。今も生きています。僕たちの悪い心をきれいにして救ってくれます。今まで内緒にしてきた罪がありますか？ウソや悪口、意地悪、わがまま、ぬすみ…そのような罪から救うためにイエスさまは来て下さいました。十字架のイエスさまを信じる時、罪やのろいから救われます。「イエスさま、ぼくの、わたしの悪い心をゆるしてください。きれいにしてください」と一緒にお祈りしましょう。先生が先に祈るので、後についてきてみんなも祈って下さい。

教師ノート

日付	2015年 7月19日
単元	伝道メッセージ
テーマ	救い
タイトル	救われるって
テキスト	Iコリント10:13、ヨハネ3:16-17
参照箇所	ヨハネ16:33、ルカ18:27、ローマ10:10
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ3:16
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	

□導入

教会に来ると、「救われる」ってよく聞くよね～。救われるって、どういうこと？気持ち良くなること？何から救われるんだろう？特に困っていなかったら、救われる必要ってないのかな？「救われる」ってなんだろうね。イエスさまは「救い主」って言うけど、何から救ってくれるのかな？救われたらどうなるのかな？

□ポイント1 イエスさまは、罪と死と滅びから救ってくれます(ヨハネ3:16)

数年前の統計なんだけど、1544人の小学生が家出をして、保護者が捜索願を警察に出しているんだって。中学生だと7000人を越えています。この数字は、捜索願を出している数だから、実際には3-4倍ぐらいの家出をする小中学生がいるんだって。家を出たくなる辛いこともあったかもしれませんが、「プチ家出」のように、ちょっとしたことが嫌になって家を出たのかもしれませんが。捜索願を出している保護者の方々は、心配で仕方ないと思うんです。そして子どもを愛している親であればほど、どうして家出をするんだろうって悲しくなるだろうね。

神さまは私たちが造られた造り主(創造主)です。天におられる父なる神さまは愛をもって私たち一人一人をお造りになられました。その造り主である父なる神さまを信じないで、「本当の神さまなんて知らない！」って生きている、それが罪なんだよ。悪いことをすることも罪って言うんだけど、聖なる神さま、正しい神さま、愛の神さまを信じないで、神さまから離れて生きているから、人は悪いことをしてしまうんです。

ある人は、罪は「生ゴミ」のようなものだって言いました。生ゴミをゴミ箱に入れなかったり、部屋の真ん中においているとどうなりますか？・・・そう汚くなる、臭くなる、虫がわいてくる・・・そして病気になってしまいます。私たちが神さまを信じないで生きていると、心の中は生ゴミのようなものでいっぱいになって、どんなに隠してもやがて腐ったような臭いがしてきます。「臭いものにはフタをすればいい」と思って隠していても、どんどんどんどん不潔なもの、きたないものでいっぱいになります。

では生ゴミをどうしたらいいかな？そう、ちゃんと捨ててゴミ収集車に持って行ってもらったらいいよね。イエスさまは、私たちの心の中にあるゴミのように汚い罪を背負って十字架にかかってくれました。イエスさまは、みんなが神さまを信じないで、心の中が汚く臭くならないように、私たちの心にある罪を全部背負って十字架にかかって下さいました。みんなを愛しているから、罪をもったまま滅んでほしくないから、「わたしが全部、みんなの罪を背負うよ」と言って、私たちが罪をおかしたために受ける罰も、滅びも全部代わりに引き受けてくれました。

イエスさまは神さまの子だから簡単なことだったのでしょうか？そんなことはありません。みんなのことを愛しているから、苦しみを背負って身代わりとなって下さったのです。私たちのために汗が血のように流れるほどに祈られ、ムチ打たれ、十字架にかかってくれたのです。このイエスさまを救い主と信じるとき、私たちの心にある罪、その結果の滅びからも救われます。イエスさまは救いの道を開いてくれました。

□ポイント2 イエスさまは、つらいことや大変なこと(試練や困難)から、助けてくれます(Iコリ10:13)

「救い」という言葉には、助け出されるという意味もあります。罪や滅びから救ってくれたイエスさまは、私たちがつらいことや大変だなあと思うことを体験した時、私たちを助け、救い出してくれます。

みんなは今、10歳？20歳の大人からみたら半分(50%)、40歳の大人からみたら1/4(25%)の年齢だよ。60歳や70歳の人からみたら、「人生これから、まだまだ」ってきっと思うかもしれないね。でも、10歳のみんなにとって10年間は100%だよ。子どもには子どもにとってつらいこともあると思う。嫌だなあ、しんどいなあって思うこと、投げ出したいくなることや、生きていても面白くないなあって感じることもあるかもしれません。そんな時、「イエスさまー、助けて下さい！」ってイエスさまの名前を呼んでお祈りしてみてください。お祈りが上手にできなくても大丈夫です。正直に困っていることをそのままうちあげたら、神さまは不思議な方法で助けて下さいます。教会で覚えた暗唱聖句や賛美を歌ってみてください。イエスさまを思いおこし、イエスさまを求めていく時、イエスさまは救い主だから、助けてくれます。

☞ 電動アシスト自転車って知ってますか？自分の力だけではなくて、電気の力でアシスト(補助)してくれる自転車です。最初の頃は人間の力が1に対して電気の力も1だったんだけど、今は時速10キロまでは人間の力が1に対して電気の力が2になったので、今までよりもさらに楽に坂道を登れるようになりました。……イエスさまを信じて教会に来ていたら、苦しいこともなくなり、人生は楽しいことばかりでバラ色のようなになる……というわけではありません。雨の日も嵐の日もあれば、坂道も登るし、つらいことも嫌なこともやっぱりあります。それでもイエスさまは、イエスさまを信じる人を無視しません。イエスさまは電動自転車じゃないけれど、信じる私たちと一緒にいてどんな山も乗り越える力を与えてくれます。こんなに力強いことはありません。イエスさまは神の子だから、どんなにつらいことがあっても、慰め励ましてくれる救い主です。

□ポイント3 イエスさまを信じて救われると、永遠のいのちが与えられます (ヨハネ3:16)

私たちの人生は、1回限りです。前世とか何かに生まれ変わるということはありません。みんなは世界中でただ1人ですし、他の誰かになることもありません。かけがえのない神さまに愛されている1人1人なのです。そして私たちの人生は、みんな1回だけです。それは神さまを信じている人も信じていない人も同じです。でも私たちのいのちは、イエスさまを信じているなら、滅びではなく、死んでしまっても終わりではなく、永遠のいのちが与えられます。神さまがおられるすばらしい天国へ行くことができるのです。天国では食べものに困ったり、ケンカや戦争もありません。病気も悲しいこともありません。神さまを真ん中にして、喜びがいっぱいにあふれています。イエスさまを信じて救われた人は、もう一度、天国で再会し、喜びあうのです。

人は罪をおかしたために「死ぬ」ことになりました。でもイエスさまは罪と死を背負われて十字架にかかれたので、イエスさまを信じる人は死んで終わりではなく、永遠のいのちを持つことができるのです。永遠のいのちって、単にいつまでも長い間生きているということではなく、神さまのことを深く知り、神さまといつまでも一緒にいることで、私たちのいのちが輝いて、喜んで、嬉しい状態のことです。だからイエスさまを信じて救われて永遠のいのちが与えられたということは、「あー生まれてきて良かった。今、生きていることが嬉しいなあ。これからは喜んで生きていける」、そういういのちの喜びが与えられているということです。

□結論 イエスさまは、救い主です。イエスさまを信じる時、私たちは救われます。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. 心の中に生ゴミのようなものはありますか？

意地悪をしてしまったこと、人を傷つけたこと、お父さんやお母さんに汚い言葉を言ったこと、嘘をついて友だちをだましたこと、誰かのものを盗んだこと、カンニングしたこと、ズルをしたこと、……そういう心をそのままにしていると、どんどん私たちの心は臭くなっていきます。イエス様の十字架の血潮は、全ての罪から私たちを清めます。今、心の中に思い浮かんだ罪を正直に神さまに「ごめんなさい」と言って祈ってみましょう。神さまはゆるしと平安を与えてくれます。

2. しんどいなあ、もう嫌だなあと思っていることは、ありますか？

学校に行けなくなるくらい辛いこと、もう生きているのもしんどい、どうして生まれてきたんだろう、そんなことを思う小学生がいます。「イエス様、助けて下さい！救って下さい！」そう祈ってみましょう。イエス様は救い主です。みんなを救う神の子です。必ずぼくたち私たちが助けることができるお方です。

3. 死んだらどうなるんだろう？死ぬことに不安や恐れを感じていますか？

どんな人もいつか死を経験します。でもイエスさまが死を打ち破ってよみがえられたので、イエスさまを信じる人は、永遠のいのちが与えられ、天国へ行くことができます。滅びに向かってではなく、一緒にイエスさまを信じて天国行きの切符をいただきましょう！

イエスさまを信じる人は手をあげてください。一緒に目を閉じてお祈りしましょう。

教師ノート

日付	2015年 7月26日
単元	伝道メッセージ
テーマ	イエス・キリスト
タイトル	道・真理・いのち
テキスト	ヨハネ14:6
参照箇所	マタイ7:13、ヨハネ15:13、Ⅱコリント5:4、マタイ16:26
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	ヨハネ14:6


AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)

□導入

今日は、世界中のたくさんの方が励まされてきたヨハネ14:6と一緒に読んでみましょう。

□ポイント1 イエスさまは、道です

イエスさまは、「わたしは道です」と言われました。イエスさまを信じてイエスさまと一緒に歩いていく時、私たちは天国を目指して、父なる神さまのもとへ行くことができます。どんなに広い道に見えても、またたくさんの方がそっちに向かっていても、滅びに向かってしまうことがあります。いのちの道は狭い、それを見つける人は少ないってイエスさまは言われました。

 これは何のマークが分かりますか？ そう、「一方通行」のマークです。車を運転している時に、この標識を見落としてしまって、反対に走ってしまうと警察官に捕まって罰金を払うことになります。そして交通ルールを守らないと、事故になっちゃいます。「赤信号、みんなで渡ればこわくない」って誰かが言ったんだけど、信号無視して赤信号をみんなで渡るとどうなってしまうか、分かるよね～。この一方通行のマークをみんなが見落として反対に歩いていて、自分だけ矢印の方向に向かって歩いていたら、自分が間違っているように感じちゃうよね。でも、どんなにたくさんの人々が矢印の反対に歩いていても、正しいのはこの矢印の方向に向かって歩いていくことなんです。

でも、たくさんの人たちがイエスさまのことに気づかなくて、神さまとは反対の方向に向かって生きています。教会のことも、聖書のことも知らないで生きてると、信号無視をして事故にあうように、愛の神さまとは反対方向、いじめたり、けんかしたり、悪口を言い合ったり、人間関係の交通事故にあってしまうんです。イエスさまを信じてイエスさまと一緒に生きていく道は、愛の神さまに向かっていく道なんだよ。

□ポイント2 イエスさまは、真理です

カラーコピー機が出来た時に、1万円札を両面コピーして使ったことが見つかり、警察につかまった人がいました。偽もののお金は使えないよね。「オレだよ、オレ、オレ」と言って息子や孫のふりをしてお年寄りの方をだます「オレオレ詐欺」、賞味期限を変えて食べ物売っていた店、外国産のうなぎを日本産と言って売っていた店、牛のミンチ肉に違う肉を混ぜて売ること、偽もののブランド品、偽ものの神さま……、嘘を言う偽り、本物のように見せる偽ものに関する事件が、毎年、毎年ニュースになっています。悲しいことです。偽ものと分からなかったら、どうなってしまうのでしょうか？…だまされて損をしたたり、危険な目にあったりします。

イエスさまは、「わたしこそが真理です」と言われました。イエスさまは神の子ですから、間違いませんし、裏切りません。聖書に書かれているイエスさまの言葉は、正しいのです。イエスさまを信じて、聖書のイエ

スさまの言葉を信じて、クリスチャンになった人々が世界中で今までもたくさんいました。何十億、何百億、何千億人いるでしょうか？イエスさまを信じ続けた人は、地上での生涯が閉じる時に、「イエスさまを信じて損をした」、「イエスさまの言葉を信じてきたけど、裏切られた。信じなければ良かった」、そう思う人は1人もいないはずですよ。なぜならイエスさまは、真理だからです。偽せものの神さまではなく本物の神さまだからです。聖書に書かれているイエスさまの言葉は、嘘や偽り、だますことはありません。だから私たちは、もっとイエスさまの真理の言葉、聖書を読んでいきましょう。

□ポイント3 イエスさまは、いのちです

天気予報は、当たったり外れたりします。電車やバスも、事故とかの影響で時間通りに来れないことがあります。「絶対こうだ」と言えるものは本当は少ないので、私たちはいろいろなことの準備をすることが大切です。でもどんなにテストの点が良くても、お金持ちでも、スポーツが良くできても、「絶対」、「100%」どんな人も避けられないことがあります。なんだか分かりますか？・・・それは、人は必ず死ぬということです。

先生もいつかは分かりませんが、みんなとお別れをしなければならない時がやってきます。死んでしまうって悲しいよね。先生は小学生の時、死んでしまったらどうなるんだろうってとっても怖くなったのを覚えています。どうして死んでしまうんだろう？？？聖書は、人は罪を犯したから死ぬようになったんだと教えています。しかし、イエスさまは私たちの罪を代わりに背負って十字架にかかってくれました。私たちの罪のためにイエスさまは十字架にかかれたのです。そして、3日目の日曜日に死を打ち破ってよみがえられたのです。心臓が少しの間だけ止まって、そのあとマッサージをして生き返った人の話は時々聞きます。良かったなあと思います。でも、その人もまたいつか死んでしまいます。でもイエスさまは、死んでよみがえってくださり、天の父なる神さまのところにいて、今も生きておられるのです！このイエスさまを信じる時に、一度は死ぬんだけど、死んで終わりではありません。また他の動物に生き返るのでもありません。みんなはみんなとして、父なる神さまのおられる天国へ行き、私たちがイエスさまと同じ永遠のいのちが与えられるのです。

そしていのちの主であるイエスさまを信じる時、生きている今も、恐ろしいことや不安や、「もう生きていくのがしんどい、いやだ」という気持ちが小さくなり、生きる喜びと感謝、力がわいてきます！

□結論 イエスさまは、父なる神さまと私たちの懸け橋です。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. イエスさまの教会に行こう・・・たくさんの方がイエスさまのことを知らなくて教会に来ていなくても、これからイエスさまを信じて、イエスさまの教会に行こう！

2. イエスさまの言葉を信じよう・・・どんなイエスさまの言葉を知っていますか？聖書を読んでいますか？イエスさまは裏切りません。聖書を読んでイエスさまの言葉をたくさん信じていきましょう。

3. 悲しいこと、辛かったこと、生きていくのがしんどいなあと思うことがあるでしょうか。イエスさまを信じる時に与えられるいのちは、死よりも大きくて強いのです。「いのちの主であるイエスさま、死ぬほど悲しいこと、つらいことをのりこえる力を与えて下さい」と一緒に祈りましょう。